

2025 年 8 月 27 日

各位

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
(コード：167A、東証プライム)
菱洋エレクトロ株式会社

菱洋エレクトロ、デジタルツイン導入支援メニューを提供開始 ～製造業やロボット分野におけるフィジカル AI 時代への準備を支援～

エレクトロニクス商社の菱洋エレクトロ株式会社（東京都中央区、代表取締役社長執行役員：中村 守孝、以下「菱洋エレクトロ」）は、企業向け AI 導入サポートプログラム「RYOYO AI Techmate Program（リョーヨーAI テックメイトプログラム）」にデジタルツイン導入支援メニューを追加した「RYOYO AI Techmate Program for Digital Twin」（以下「本サービス」）を 9 月より提供開始します。特に、製造業やロボット分野に対し、NVIDIA Omniverse™や NVIDIA COSMOS™をはじめとしたデジタルツインツールのトレーニングや、デジタルツインに必要な各種開発を技術的にサポートします。



■ デジタルツインの導入支援を提供する背景

デジタル空間で成果をもたらす生成 AI に対し、今後は現実世界で動作し課題を解決する「フィジカル AI」の時代が到来すると考えられています。

フィジカル AI とは：AI と融合したロボットやエッジデバイスが、柔軟かつ適応的にタスクを遂行し、実世界の課題に自律的に対応する技術。人手不足をはじめとする社会的・産業的課題の解決につながると考えられている

さらに、製造業やロボティクス分野においては、人と協働する AI を搭載したエッジデバイスや

サービスによる新たな価値創出が、日本産業の競争力強化や収益改善につながると見込まれています。そのためには、効率的なシミュレーションによってAIの精度向上を行うための現実をデジタル空間上に再現するデジタルツイン技術が不可欠となります。こうした背景を踏まえ、菱洋エレクトロでは「フィジカルAI」の本格的な実現を見据え、本サービスの提供を開始することといたしました。

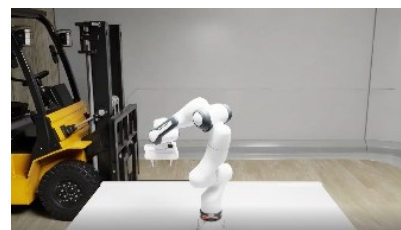
■ RYOYO AI Techmate Program for Digital Twin のメニュー内容

現在の提供サービスに加え、下記のメニューを追加します。

- **人材育成 デジタルツインツールトレーニング**

進化のスピードが非常に速いデジタルツイン技術のツールのトレーニングプログラムを提供します。

【ツール例】NVIDIA Omniverse™、NVIDIA COSMOS™、NVIDIA Isaac™ など



- **RYOYO Techmate 制度 デジタルツインパートナーとのマッチング**

お客様の課題やニーズに合わせて、設計・シミュレーション・自動化などの実用的なソリューションを提供できるパートナーとのマッチングを行います。

- **コンサルティングサービス**

例えば「生産設備の自動化と人の動きを同時にシミュレーションし、現実にも実装したい」といった取り組みテーマを丁寧にヒアリングし、進化の早いデジタルツイン技術や最新事例を踏まえて、お客様に最適な技術を提案します。

- **開発支援**

- **開発サポート**：製造ラインの最適化や自動化に向けた必要技術の選定、ロボットの動作設計、CADとの連携、デジタルツインに必要な合成データの利活用など、各種開発を技術的に支援します。
- **ツール活用サポート**：リファレンスアーキテクチャやNVIDIAのロボットシミュレーションプラットフォームの活用を通じて、効率的なデジタルツイン開発を最新技術によって支援します。
- **ハードウェア選定サポート**：オンプレ環境で動作させるために最適なハードウェア製品を提案します。



■ 本サービスのメインターゲット

本サービスは、製造業およびロボット分野の企業を主なターゲットとしています。

これまでデジタルツイン技術は、都市計画や自動車の分野で先行して導入が進んでいました。しかし生成 AI の登場により、AI を搭載した製品やロボティクスの可能性が大きく広がり、デジタルツインは一部の先進企業だけでなく、より広範な製造業にとっても不可欠な技術となりつつあります。また、サービスロボットが消費者の生活空間で人と協働する実証実験も進んでおり、ロボット分野では AI との融合による高度な機能の実現が期待されています。

こうした流れとお客様との対話を通じて「AI を搭載した製品を通じて新たな価値を創出した」と考える製造業やロボット分野の企業が増えていることに基づき、当社はこれらの企業を本サービスの中核ターゲットと位置づけています。

■ なぜ菱洋エレクトロがこの取り組みを行うのか

フィジカル AI の実現には、①AI モデルを実行するエッジデバイスと GPU、②AI モデルの学習を行うコンピューター、③AI とエッジデバイスの動作をシミュレーションするコンピューター、という 3 つのコンピューター環境が基盤となります。

菱洋エレクトロは、昨年より提供している「RYOYO AI Techmate Program」において、②の学習環境を支援してきました。そして今回、③に該当するデジタルツインの導入支援を新たに開始します。さらに、①のエッジデバイスの GPU 組み込みについては、菱洋エレクトロは 2005 年より NVIDIA とビジネスを開始し、NVIDIA Jetson をはじめとして国内最大規模の取り扱い実績があります。これまでに、産業機器や医療機器向けに GPU・CPU を組み込んだシステムを多数提供してきました。

これらの強みを活かし、デジタルツインの活用から、AI モデルのデータ連携などの 3 つのコンピューター環境の構築を支援し、企業の競争力強化と収益改善、ひいては産業の発展に貢献してまいります。



■ 菱洋エレクトロについて

エレクトロニクス商社として、半導体・デバイスと ICT ソリューションの両軸を強みに、AI や IoT など次世代技術の実装を支援しています。製品販売に加え、コンサルティング、組み込み機器開発、設置、運用保守などのサービスを展開し、IT 環境の構築をまとめて支援することで、お客様の課題解決に取り組んでいます。



RYOYO

社 名 : 菱洋エレクトロ株式会社
代 表 : 代表取締役社長執行役員 中村 守孝
設 立 日 : 1961 年 2 月
株 主 : リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
資 本 金 : 13,672 百万円
事業内容 : 半導体・デバイスの販売／ICT製品の販売／組み込み製品の販売／
上記に関わる設計・開発及び技術サポート／上記に関わる各種サービス
所 在 地 : 東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号(コンワビル)
U R L : ▶[菱洋エレクトロ コーポレートサイト](#) ▶[リョーサン菱洋ホールディングス コーポレートサイト](#)
菱洋エレクトロはリョーサンと経営統合し、2024 年 4 月 1 日に「リョーサン菱洋ホールディングス株式会社」を設立しました

■ 本プログラムに関するお問い合わせ先

菱洋エレクトロ株式会社ソリューション事業
本部
ソリューション第 5 ビジネスユニット
TEL : 03-3546-6211
Mail : nvidia_ws_info@ryoyo.co.jp

■ 本件に関するお問い合わせ先

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
企画本部 広報部
URL : <https://www.rr-hds.co.jp>
TEL : 03-3546-5003 Mail : pr@rr-hds.co.jp